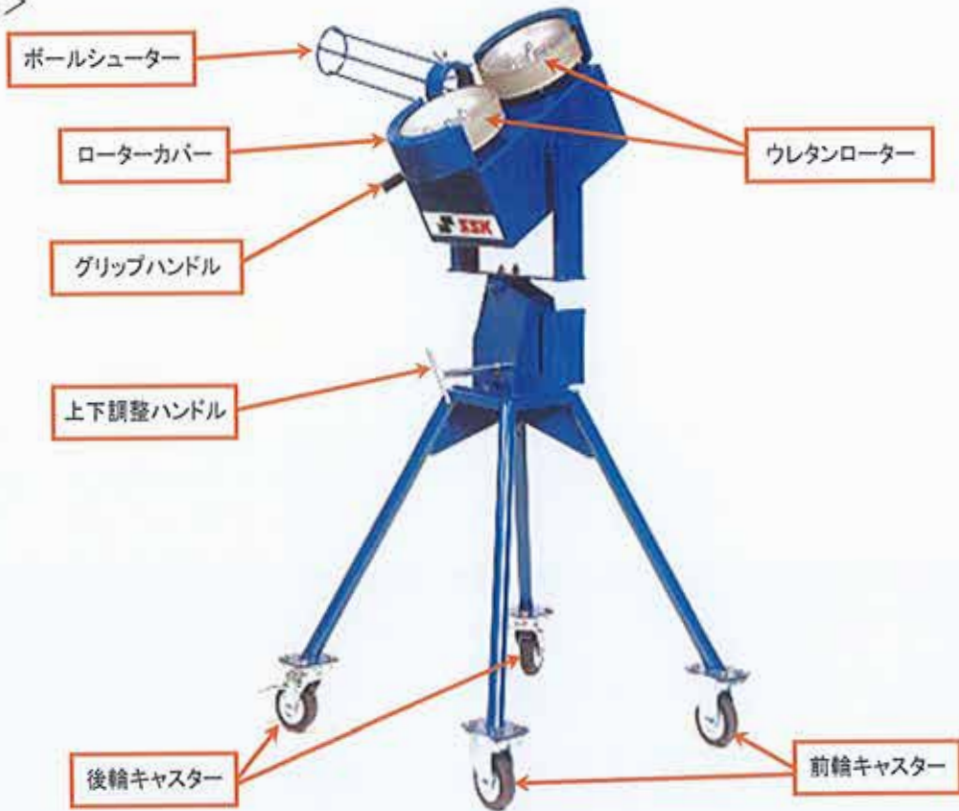
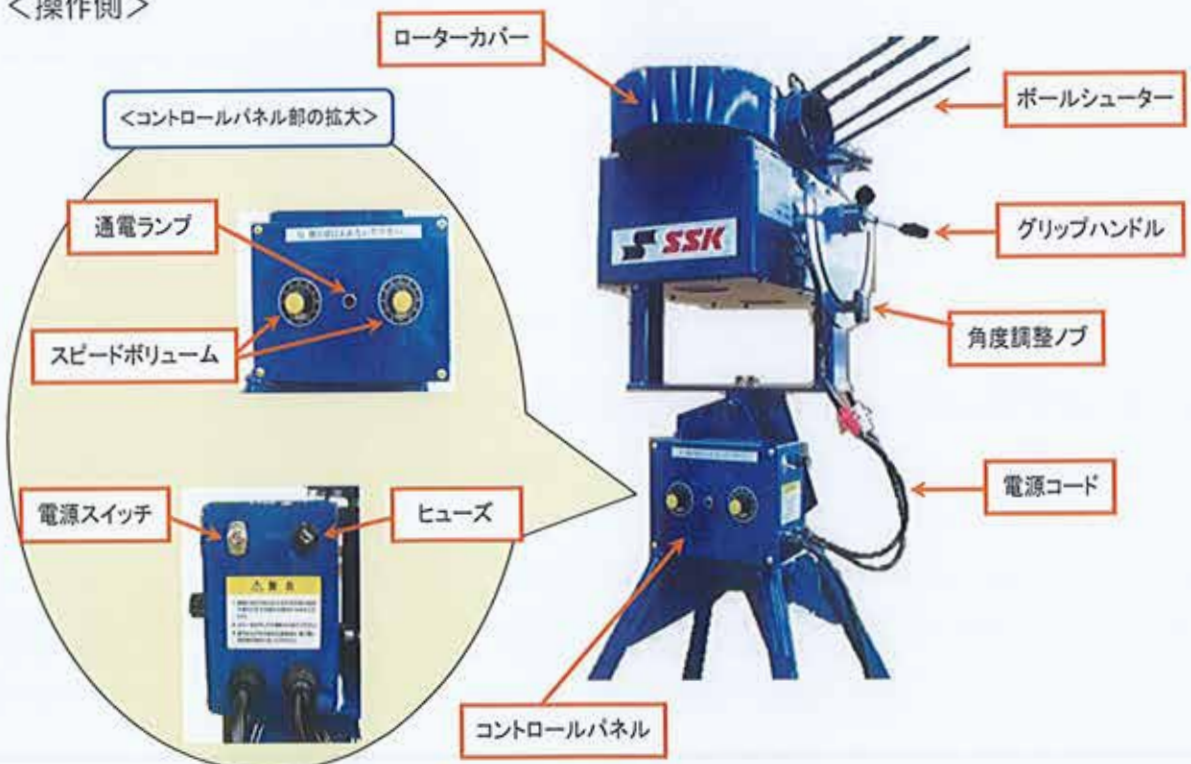


各部の名称

<発射側>



<操作側>



使用手順

《使用前》

1. グリップハンドルを持ち、マシンを使用場所に運びます。
(グリップハンドル以外を持ちますと、ケガ及び破損の原因となる
ことがあります。)
2. 後輪キャスターのストッパーをかけ、固定します。
(固定しない状態で使用すると、稼動時に危険が及びます。)
3. ボールシューターを設置します。
しっかりと固定してください。
4. 危険防止の為、電源OFFの状態での回転部分及び各箇所に異物等が
からんでいないかを確認します。外観の変形等も確認します。
5. マシン前にネットを設置し、操作者は防具を着用します。
※安全の為、必ず行ってください
6. マシンの電源プラグをAC100Vコンセントに差し込みます。
(コントロールパネルの通電ランプが点灯します。)
7. **コントロールパネルのスピードボリュームが「0」であることを確認
します。**
8. 電源スイッチをON(上向き)にします。
9. スピードボリュームをゆっくり右方向(時計方向)に回します。
急に回すと故障の原因になる恐れがあります。
10. ローター回転後、大きな振動・異音がないか確認します。
万が一、見受けられるようであれば、直ちに運転を停止してください。
11. ローターが回転し始めてから、約40秒後に投入を開始します。
回転後すぐに投入すると、あらぬ方向に発射される恐れがあります。
**必ず左右の回転が安定したことを確認後、ボールの投入をしてくだ
さい。**

12. 周りに人や物がいないことを確認後、試球しながらスピードと投球位置を決めます。(P12、13の「8. 設定」を参照して下さい)

①スピードはスピードボリューム

「0」位置から右方向へと回すと投球速度が上がります

②投球位置は上下調整ハンドル

上下調整ハンドルを緩め角度を調整し、位置が決まったら上下調整ハンドルを締めます。

③球種は角度調整ノブ

角度調整ノブを緩め、グリップハンドルで上部BOXの傾きを調整し、位置が決まったら角度調整ノブを締めます。

※スピード、投球位置を決め、試球を行う際は、ボールの受け手と声をかけ合いながら安全に行ってください。

13. 設定・調整後、安全に注意しながら使用を開始します。

《使用後》

1. スピードボリュームを「0」に戻します。

2. 電源をOFF（下向き）にします。

※ローターが完全に停止するまで、接触・移動はしないでください。
ケガの原因となります。

3. 電源プラグを抜きます。

(電源を引いている場合は、電源の処理を行ってください)。

4. シューターを外します。

シューターを設置したまま移動・保管すると、破損の恐れがありますので、外してください。

5. 各箇所に異常がないか点検します。

ほこり等を除去しておく、より良いです。

6. 後部キャスターのストッパーを解除します。

7. グリップハンドルを持ち、マシンを保管場所まで移動します。

8. 専用マシンカバーをかけ、保管します。

設 定

1. 球種の設定

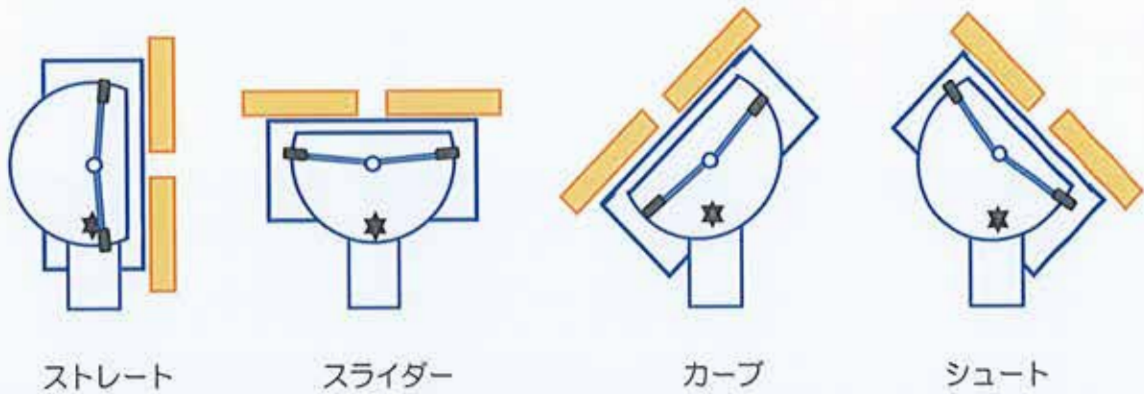
① スイング角度の設定

球種によってマシンスイング角度を、目的によって合わせて下さい。

※角度調整は、マシンのスイング角度設定グリップハンドルを急に動かないように持ち、緩めて位置を決め完全に締め付けて下さい。

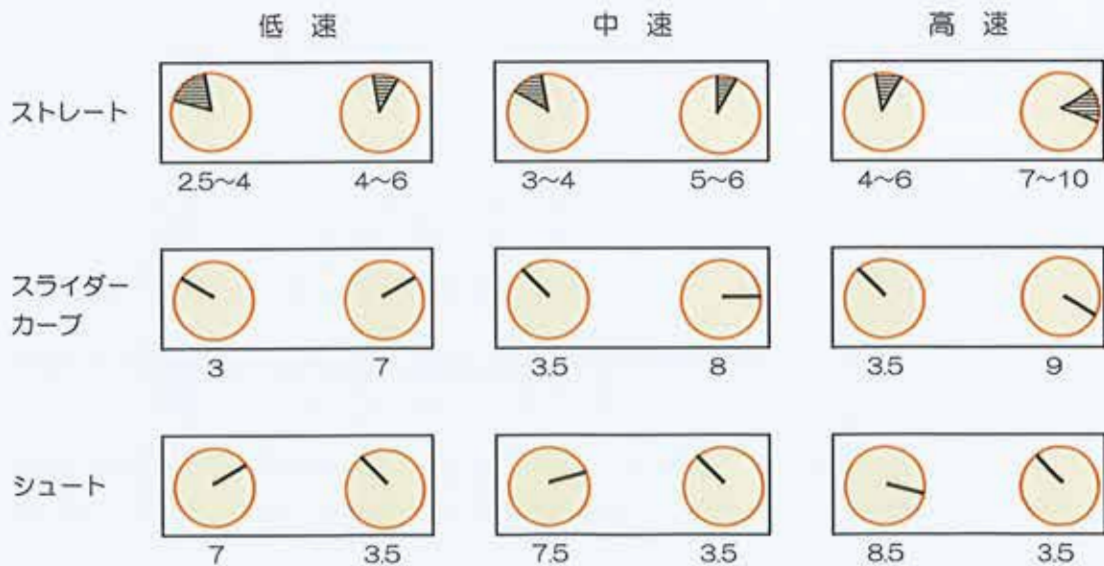
※スイング設定基準は、下記のようになります。

② シューター設定球種によってボールシューターの角度を設定して下さい。



2. ボリューム設定

球種・スピードによって下図の様にボリューム調整して下さい。

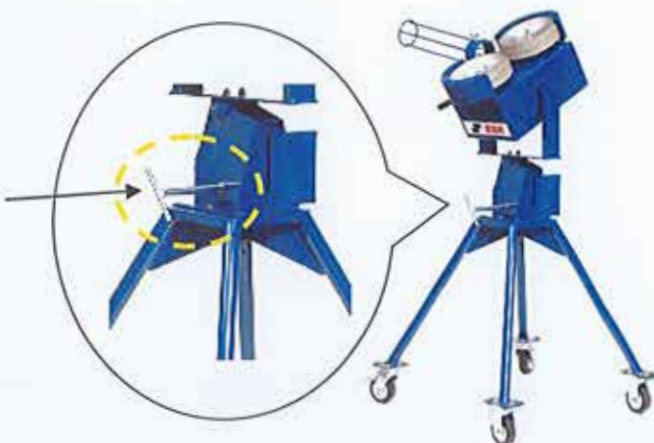


3. コントロール調整

球種、シューター設定、発射位置の設定が出来ましたら、ホームベースに向けて1～2球ボールを発射してみてください。ボールの行方を見て高さを調整します。

〈高さ調整〉

- ①上下調整固定ハンドルを緩め、マシンを上下方向に倒します。
- ②位置が決まったら、ハンドルで固定します。



4. コース設定

コースの設定は、マシン後部を左右に振ってストライクゾーンに入るように設定します。

※ストレートを使用していてカーブに設定したい場合は、そのままのマシン位置の場合、外角にボールが外れてしまいますので、マシンの後部を左に振って下さい。

